

Step1-5の準備

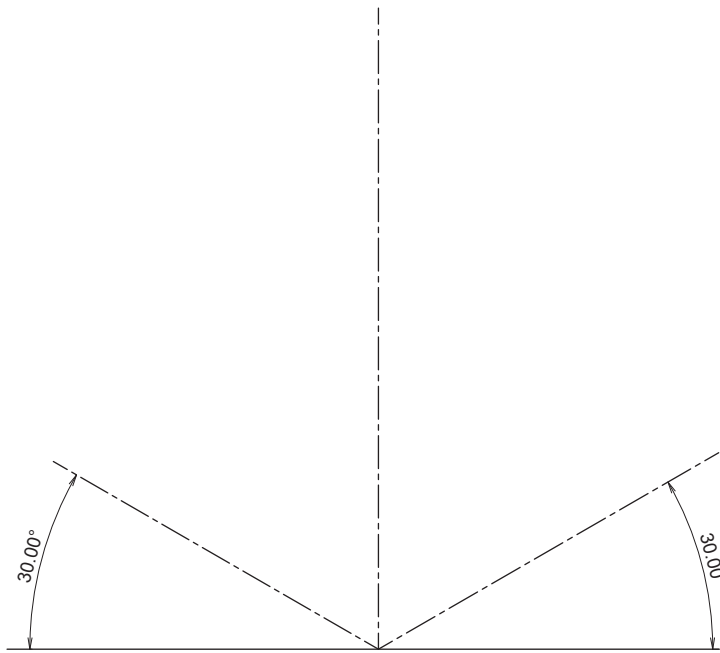
「アイソメトリック図と、アクソノメトリック図」

課題

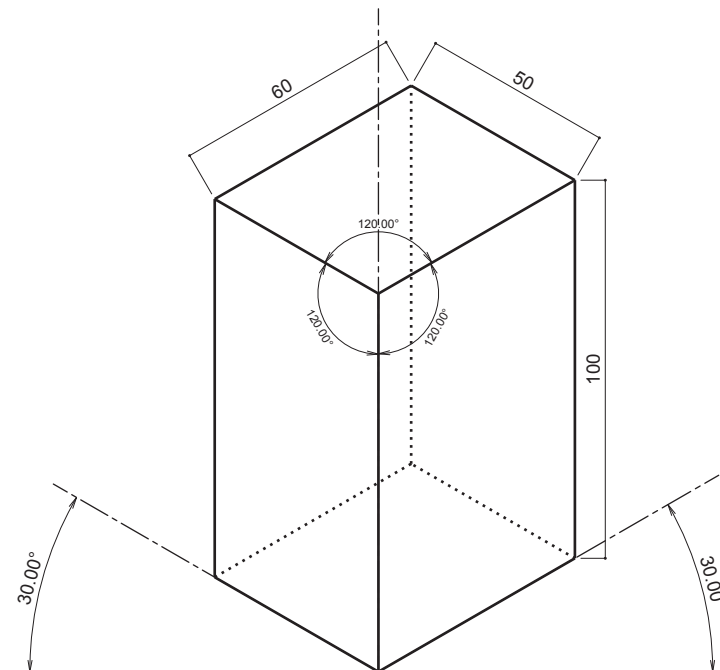
底面が 70mm×50mm の長方形、高さが 80mm の直方体を、アイソメトリック図と、アクソノメトリック図で描くこと。

縮尺は 1:2

アイソメトリック図 (アイソメ図)



①基準となる水平線と垂直線を引き、交点から左右にそれぞれ 30°の補助線を引く (一点鎖線で)。



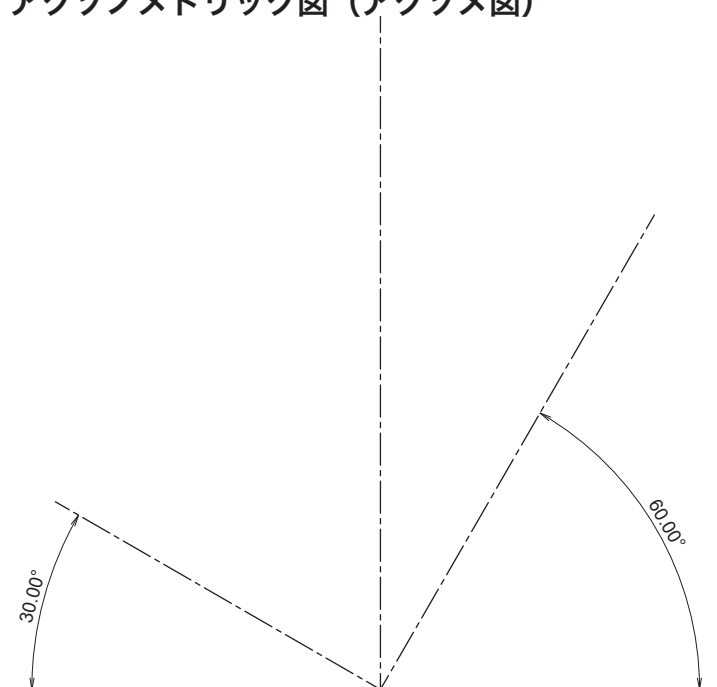
②この 30°の線に実長の奥行きを、垂直線には実長の高さをとってアイソメ図を作図する。

アイソメ図では、辺の長さは変わらない。

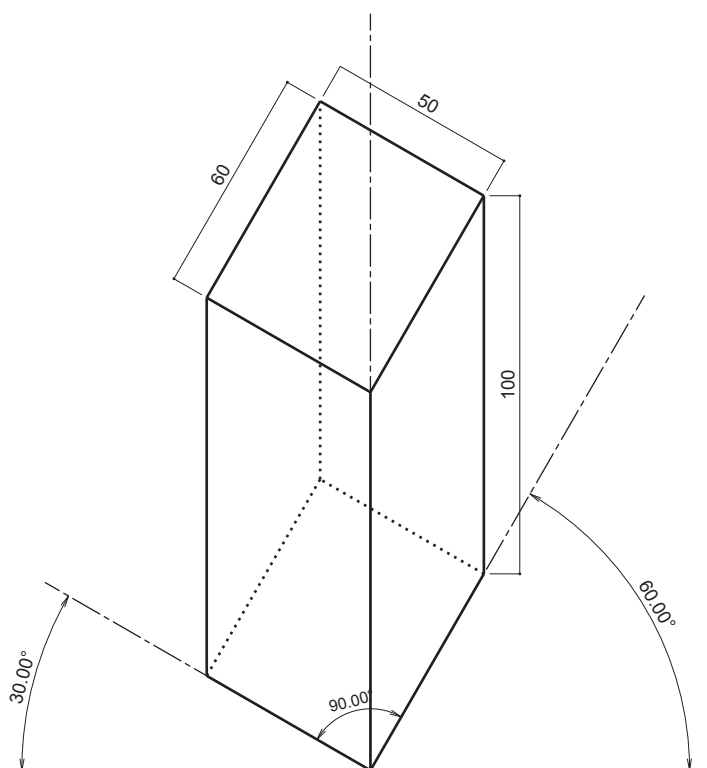
しかし、底面図形、側面図形は歪む (長方形→平行四辺形に) 作図角度 (30°- 30°) は不変。

Step1-5の準備 解答例

アクソノメトリック図 (アクソメ図)



- ③基準となる水平線と垂直線を引き、交点から左右のどちらかに、任意の角度（一般に 30° または 45° ）の補助線を引く（一点鎖線で）。もう片方の側に、 90° から①の角度を引いた角度（ 60° または 45° ）の線を引く（一点鎖線で）。



- ④それぞれの線に実長の奥行きを、垂直線には実長の高さをとってアクソメ図を作図する。

アクソメ図では、辺の長さは変わらない。また、平面図形は回転するだけで、形は変わらない。側面図形は歪む（長方形→平行四辺形に）。作図角度は任意だが、一般に 30° または 45° 。